

第2回公開授業(小3総合)「北川村のすご〜い人のひみつをさがそう」

北川村のすご〜い人として、かかしを作って北川村を元気にしようと頑張っている島地区の上村さんと活動をしてきました。実際に島地区へ行き、かかしを見学したり、お話を聞いたりして、上村さんや地域の方の思いを知り、自分たちも村の人を元気にしようとかかしを作り、「ゆずの花」に展示したりしてきました。本時は、そのかかしを見た方の感想やこれまでの体験をもとに、「かざってすご〜い」と思ったことや上村さんのようにみんなを元気にできたかを考えることをねらいとした授業でした。事前にふせんに書いていた「かざってすご〜い」と思ったことを出し合い、分類したり関連していることを発表したりしました。そして、自分たちが上村さんのように地域を元気にできたか、それぞれが自分の言葉で活動を振り返ることができていました。これまで一緒に活動してきた社協の野川さんから感想を聞き、最後には上村さんから「おじさんのねらいどおりにやってくれた。もっと増やしたい。涙が出そう。また島地区へ来てね。」という言葉をいただき、達成感あふれる児童の姿が見られました。



これまでの活動を動画で振り返ろう



上村さんの思いや願いを確認



かかしを「飾ってすご〜い」を発表



意見を聞き合いながら考えを深める



児童の意見に共感、価値付け
ふせんを分類、意見を関連付けて板書



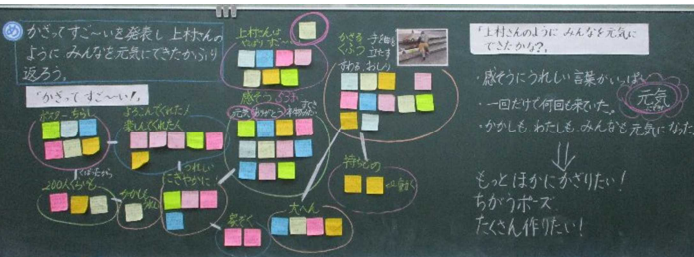
上村さんのように地域を元気に
できたか体験などを根拠に発表



一緒に活動してきた社協の方から



上村さん(かかし作り)から思いを聞く



いろいろな人が見に来てくれて、感想も3枚もあって、「ありがとう」「元気がなった」と書いてあったのでよかったと思う。

おじさんのねらいどおりにやってくれた。飾る時の工夫に、チラシやポスターがあって参考に became. これからもかかしを増やしたい。今日は涙が出そうやうだ。また島にも来てね。

共通取組事項！

★力の付く単元の流れ（子どもの間と学びのストーリー化）（チームで検討） ↔ 教材分析

★体験活動を充実させる ↔ 体験やデータをもとに自分の言葉で考えを伝え合う

体験しっぱなしでなく、思考を深めたり、新たな課題を整理したりする時間を大切に。教師の問いかけ・価値付け

★活動の重点・精選

★子どもたちの発信・発言によって目標が達成できたか評価

小3の授業映像

「各学年の取組」→「小3」の中にあります

指導助言（白川 AD より）



- いい授業であった。地域の方と取り組み、チームワークがいい。
- 良かったところを <指導案>と<授業>で説明する。

○生活科・総合的な学習の時間（資料 A4 P2）

身の回りの人・こと・ものに関わることを通して、資質・能力を身に付け、様々な事象や出来事等の意味や価値に気づき、自己の生き方につながる学習。次の3点を通して、自己の生き方を考える（解説書：P12）

- ・今日の授業では、子どもの姿（言葉）を通して見えた。（全ての授業で子どもがどう考え発言していたかみとる）
- 本時の評価規準：十分根拠をもとに上村さんのように地域を元気にできたか考えることができていた。

子どもの発言を聞く。（発言やノートなど）⇨子どもの言葉を聞かずに判断できない

○総合の時間って何をする時間（資料 P3） 《 》は白川 AD 追記

- （1） 概念化が図られたか、学び方が身に付いたか
 - （2） 問いをもち追究することができたか：主体・対話・深い学びの実現
 - （3） 立ち居振る舞いや社会の出来事への関心は広がったか。
- （1）（2）で身に付けた資質・能力をくらしに生かすことができる

資質・能力

感謝の気持ちがある「ありがとうございました。」
「どうぞ荷物を置いてください。」
上村さんと出会い、地域と関わって成長してきた。

自己の生き方を考えることができる

総合の時間を通して育成したい児童の姿

○力の付く(主体的な学び手が育つ)単元の流れ（資料 A4 P4）

開きっぱなし(出会わせっぱなし、活動しっぱなし)ではなく、必要に応じて絞りこむ。

立ち止まって見直したり、振り返って考えたり、情報交換して深め合ったりして、新しい課題を整理する時間を大切にする。

○本時は(自己表出)(収束)の時間

取組の集約・ひとまずのまとめ・振り返り・発信

主体的な学びができています。

- 日常生活での生き方・地域社会へのかかわり方の変容(何ができるようになったか)

○生活科の内容（資料 A4 P5）（解説 P28, 29, 33）

総合の時間にも応用できる

★単元の目標

「①～を通して、②～ができ、③～が分かり・に気づき、④～しようとする。」

指導案について

資料 A3 参照

ストーリー性すばらしい

- 単元目標：この4つの視点が入っていて完璧。

○単元構想

小単元①	上村さんの活動(個人)	過疎化が進む島地区でかかし作りを通して地域を元気にしている。	今の課題 (課題があり、課題解決に向けた Oからの取組)	単元を貫く 見方・考え方 ↓ 一般化できる
小単元②	小島山菜グループ(グループ)	世代間のつながりがある。 地元にある物のよさを使って活動している。		
小単元③	お弓祭り(伝統継承)	昔からずっと伝統を引き継いでいる人々の頑張り	昔からの取組	

概念を入れている。⇨自分たちの生活も同じ

見方・考え方 ◇効果

授業について

○教材研究ができています（チームで）

○先生の構え

- ・子どもの思いや願いをしっかりと受け止め、ねらいに向けて子どもを導いている。
発言をコントロールできており、道筋を示している。⇨教材分析ができているからできる。
- ・子どもの発言をしっかりと受け止め、価値付けができています。
- ・子どもに「どうする？」の問いかけができています。
- ・教師も児童と一緒に探究活動し、本気度が見えた。
「濱渦けいたろうさんは4回も見に来てくれてたね」と先生も見に行き、子どもと一緒に探究している。

発問があることがよい

「飾ってすごーい」を発表し、上村さんのようにみんなを元気にできたか考えるのよ



上村さんの話へつなげている

○子ども

- ・子どもの対話が成立している。
- ・言語能力が高まっている。（3年の現段階）
自分の言葉を持っており、直感を素直に出せている。
- ・よく聞いており、つなげて考えられている。
同じタイプのことを言ったり、「これ言ってもいい？」と発言したりできていた。
- ・主体的な学びができています。
例「ポスターとかを役場に貼ったりしたから200人くらい来てくれた。うれしい。」→メタ認知ができています。
「車に乗っている人がちらちら見て笑ってくれてうれしかった。」→自分たちがしたことを他の人がどう見ているか見ている。
「上村さんは夢を全部かなえて夢を大きくしている。」

哲学の時間みたいだった。

単なる活動だけで終わっていない。

△課題

○どこを重点にするか

活動3、4をクルクルしていた。だからこそいい発言ができてはいたが。

活動5をぐっすり問いかけするとよい。

上村さんのお話を聞き、「涙が出そう」という言葉から、どういう気持ちか問いかけてみてもよかった。

○板書

児童から、「元気になったという感想があつてうれしい。また作りたい」という発言があつたが、それを板書したらよかった。

○問いかけ

児童から、「何もいいことしてないけど・・・」という発言があり、他の児童が「え～」となった。

もう少し聞いてみたらよかった。上村さんの思いと同じだと思う。

教師の役割（資料A4 P7）（解説小P109, 中p103）

子どもの状況や教材の特質に応じて、教師がどのような意図をもって展開していくかが問われる。

1 適切な教材の用意

2 どのような体験活動をしくみ、どのような話し合いを行い、どのように考えを整理し、どのように表現し発信していくか

○期待する学習の方向性や望ましい変容の姿を想定しておく

○学習活動のイメージを持ち、どのような場面でどのように指導するかを明らかにしていく。

*可視化する 指導案: 誰にもわかるように

総合の授業をどう創るか → 小中一貫校における学びの系統性と持続性 → 「子どもは地域の未来」

・子どもの問いと学びのストーリー化

・目的と目標の明確化（目的: 単元を通してどういう子どもを育てたいか）

（目標: 一つ一つの問いを解決し、学びに転化できたか）

ふりかえりまとめ



1 授業や協議で学んだこと、生かしたいこと

★本時の目標：これまでの体験やかかしを見た地域の方の感想などを根拠にして、自分たちも上村さんのようにみんなを元気にできたか考える。

○教材分析

教師が教材の魅力を感じ、その教材を通して、どんな力を付けたいのか考えることが大切。学びに向かう力をどのように子どもたちに付けていくのかを常に意識していくことが大切。子どもたちの思いや思考の流れを把握したうえで教材を分析することが重要。一人ではなかなか大変で煮詰まってくるが、グループで話し合えたことがよかった。地域を生かした題材、教材選びが素晴らしい。

○単元構想

力の付く単元の流れが大事。

計画→体験→まとめ→計画→体験→まとめ 繰り返すことで子どもたちの成長へ（思考の深まり）

○体験活動が大事

かかし見学、思いを知る、かかし作り、チラシ・ポスター作り、展示など体験が大事
体験をもとに自分の考えを述べることができる。



○理由・根拠を明確にして議論し合う活動

体験、かかしを見た感想（根拠）をもとに自分の言葉で発表



○児童の意見に共感・価値づけ（思考を深めるような問いかけ）

子どもの意見を受け止め、意見をもとに方向を示し、価値付けする。（コーディネーター役）
個々の意欲を引き出しながらキーワードをまとめる。

○思考ツールの効果的な活用

★ふせんの色分け

★分類：発達段階にあった方法で行う。児童で行う場合、児童の意見をもとに教師が分類するなど。

事前に児童のふせんを見ておくことができればよいが、その場ですぐ判断するのは技量が必要

★関連付けてまとめる：それぞれの考えに深まりが出ていた。

○ゲストティーチャーの活用

ゲストティーチャー（上村さん、野川さん）の話を聞くことで、自分たちがしてきたことが価値付けされた。

○活動の精選 ⇔ 時間配分

○子どもたちの発信・発言によって目標が達成できたか評価

その他

- 地域の方たちとの関わり方、地域をまきこんでいく力、**地域の方の思いを聞き、子どもたちがそれを実現していく取組のすばらしさ**を感じることができた。
- 地域の中から教材を探し、学習として組み立てていく授業力**はさすがです。
- ぐっすり体験**することで、**子どもの思いが深まっていく**ということも改めて感じる事ができた。
- 子どもたちが**素直に自分の感じたことや思ったことを言葉**にしているのがとても印象的だった。
- 自分の言葉でしっかり発表し、友達の見解にもよく耳を傾けていた。**
- 子どもの意見をコーディネート役で意見をつなげたり、価値付け**したりする声かけが素晴らしい。実践できるように見習っていきたい。
- 体験を通じて**道徳的な心情も育まれている**と感じた。
- 総合的な学習の時間について、**資質・能力の捉え方を具体的に示していただき、とても分かりやすかった。**
生活科の内容の構造も普段意識できていないので、考えておくことが必要だと感じた。**学びに向かう力を育成する**という意識を忘れてはいけないと思った。**子どもの問いと学びのストーリー化**がとても分かりやすかった。
- 指導案の**単元目標の構成の仕方**が分かりやすかった。
- やはり授業では時間が足りなかった。**活動の精選**など、これから実践し、振り返りまでいく授業を目指したい。
- 課題点について1つか2つに絞って協議を絞り、改善策まで話し合う**方が授業改善につながると思う。
- 子ども同士で意見や考えをつなげていくためにはどうすればいいか**手立てを知りたい。
- 三密をしなくてはいいけないが、**保護者や地域の方に参観してもらえてよかった。**

参観者より

- 子どもたちが上村さんの思いをしっかりと受け取り、「かかしで皆を元気にしたい」を行動に移し、かかしを作って展示したことで皆を喜ばせ、元気にしたと子どもたちが実感**しているなどこちら側に伝わってくる授業でした。子どもたちが元気に、自分の言葉で意見を述べていた姿に、学ぶということはこういうことなのかなと改めて思いました。授業に参加させてもらったことで、私たちも学びになり子どもってすごい！と思ったことでした。上村さんも孝子さんも今回の取組、大変喜んでおられました。**何かお手伝いできることがあれば、また声をかけてください。**
- 元氣いっぱい3年生でした。**きちんと自分の意見も発表でき、友だちの意見も受け入れて考えられて成長**していると思います。**先生の子どものたちの考えの引き出し方がすごく良かった**授業でした。
- かかし作りの体験を通して、子どもたちが本当に「うれしい」「元気がなった」「元気になってもらってうれしかった」と**豊かな気持ちになってくれた**ことは、はた目から見ていても**感動しました。**
- 子どもたちが**自分で考えて発言し、お友達の意見も尊重してすごいな**と思いました。これからものびのびと学んでいってほしいと思いました。
- 一人ひとりちゃんと自分の意見や思いをしっかりと発表**できていて良かったです。苦労してかかしを作り、ゆずの花に展示したことが子どもの発言からわかり、人がたくさん来てくれたことも子どもの励みになったと思います。**実際にかかしを作ってみたことで、上村さんの苦労や思いも子どもに伝わったようです。**
- 皆が**一生懸命作って、多くの人たちに喜んでもらえてすごく良かった**です。作り始めたことから大変や！でも楽しいと言いながら頑張っていたかかし。**子どもたちも自分もたくさんの人たちを元気にすることができてよかったです。**
- 地域とのつながりが大切であることをしっかりと心と体で感じとって良かった**です。**自分の意見を言い、人の意見も聞けるようになってうれしく**思いました。
- 全員が元氣**です。**いろいろな所を見ている様子**が見えてよかった。